**介護福祉士養成校における教育上の課題と求められる研修プログラムに関する調査**

　教　員　票

|  |
| --- |
| ※本票は、**介護福祉士養成課程の専任教員の全員**に回答をお願いいたします。  QR コード  自動的に生成された説明※また、本調査研究では非常勤の教員等に対する研修プログラム等も検討していることから、**可能な限り多くの非常勤教員**にご回答をお願いしております。  ※日本介護福祉士養成施設協会ウェブサイトの「会員のみなさまへ」のページ（http://kaiyokyo.net/member/index.html）に、調査票（ワード）、　　　ウェブ回答のURLが掲載されていますのでご活用ください。  ウェブ回答  のQRコード  ※また、弊会より、メールにおいても本調査の依頼をお送りしております。　**メールに記載されているウェブ回答及び調査票ダウンロードURLを各教員にお知らせして回答を依頼**するなど、各養成校にてご対応をいただきたく、重ねてお願いいたします。  ※本紙面で回答の場合は、同封の返信用封筒をご利用いただき、ご返送をお願いいたします。調査票が不足の場合は、コピーや上記ウェブフォーム・ダウンロードでご対応いただきますようお願いいたします。  ※**令和３年１月１５日(金)**までにご回答をお願いいたします。  ※問合せ・返送先：公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会  東京都文京区本郷3-3-10 藤和シティコープ御茶ノ水2階  TEL：03-3830-0471 / FAX：03-3830-0472  担当：渡辺　[watanabe@kaiyokyo.net](about:blank) |

## **＊＊＊ここから回答をお願いいたします＊＊＊**

質問 1　回答者である、あなたの基本情報についてお聞かせください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. **性別と年齢** | 1. 男性 | 1. 女性 | | | | （ 　　　　）歳 | | |
| 1. **本調査の回答を　依頼された所属先** | 1. 専門学校　１年課程 2. 専門学校　２年課程 3. 専門学校　３年課程 | | | | 1. 短期大学 2. 四年制大学 3. その他（　　　　　　　　） | | | |
| 1. **本調査の回答を　依頼された所属先での職位** | 1. 教授 2. 准教授 3. 助教 | | 1. 専任講師 2. 非常勤講師 3. 助手 | | | | 1. その他（　　　　　　　） | |
| 1. **最終学歴** | 1. 高等学校 2. 専門学校 3. 短期大学 | | 1. 四年制大学 2. 大学院 3. その他（　　　　　　　　） | | | | | |
| 1. **資格の有無**   **(複数回答可)** | 1. 介護福祉士 2. 社会福祉士 3. 介護支援専門員 4. 保育士 | | | 1. 医師 2. 看護師 3. 保健師 4. 作業療法士 | | | | 1. 理学療法士 2. その他   （ 　　）   1. これらの資格はない |
| 1. **⑤の資格を活かした現場での経験はありますか** | 1. ある→①介護現場　②医療現場　③リハビリの現場　④その他 2. ない 　　　（ 　） | | | | | | | |
| 1. **介護福祉士養成校の教員としての経験年数** | 通算（　　　　　）年  ※専任・非常勤を問わず、また他校での経験を含めた合計年数 | | | | | | | |
| 1. **介護教員講習会※****修了の有無** | 1. すべての科目を受講した   （ 　）年前に受講   1. 一部の科目を受講した 2. 受講していない | | | | | | | |

※介護福祉士養成校の専任教員になるためには、介護教員講習会を修了する必要があります

質問 2　本年度、ご自身がご担当している介護福祉士養成課程の科目をお教えください。ご担当の科目すべてに○をしてください。

他校でご担当されている科目についても〇をしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **領域** | **ご担当している科目（複数回答可）** | |
| **人間と社会** | 1. 人間の尊厳と自立 2. 人間関係とコミュニケーション | 1. 社会の理解 2. 人間と社会に関する選択科目 |
| **介　　　護** | 1. 介護の基本 2. コミュニケーション技術 3. 生活支援技術 | 1. 介護過程 2. 介護総合演習 |
| **こころとからだのしくみ** | 1. こころとからだのしくみ 2. 発達と老化の理解 | 1. 認知症の理解 2. 障害の理解 |
| **医療的ケア** | 1. 医療的ケア | 1. 医療的ケア(演習) |

＊＊＊　介護福祉士養成校における教育について伺います　＊＊＊

質問 3　2019年度より順次導入されている「介護福祉士養成課程の新カリキュラム」を作成するにあたり、その前提として**「求められる介護福祉士像」**が明示されています。以下、あてはまるもの１つに○をしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| **「求められる介護福祉士像」**について   1. 理解し、意識して養成教育にあたっている 2. 知っており、ある程度理解している | 1. 聞いたことはあるが、詳細はわからない 2. 「求められる介護福祉士像」を知らない |

質問 4　2019年度より順次導入されている「介護福祉士養成課程の新カリキュラム」には、**領域の「目的」、教育内容の「ねらい」、教育に含むべき事項の「留意点」**が示されています。これらがあることは知っていますか。あてはまるものに○をしてください。

|  |
| --- |
| 1. 領域の「目的」があることは知っている 2. 教育内容の「ねらい」があることは知っている 3. 教育に含むべき事項の「留意点」があることは知っている 4. いずれも知らない |

（１）領域の「目的」、教育内容の「ねらい」、教育に含むべき事項の「留意点」について、あてはまるものに○をしてください。

|  |
| --- |
| 1. 領域の「目的」を学習内容に反映できている 2. 教育内容の「ねらい」を学習内容に反映できている 3. 教育に含むべき事項の「留意点」を学習内容に反映できている 4. いずれも学習内容に反映できていない |

質問5　介護福祉士養成教育における領域の「目的」や教育内容の「ねらい」、教育に含むべき事項の「留意点」に示された修得すべき能力や内容をもとに、**「介護福祉士養成教育において修得すべき習得度評価基準**※**」**が明示されています。　　　　　以下、あてはまるもの１つに○をしてください。

|  |
| --- |
| **「介護福祉士養成課程における習得度評価基準」**について   1. 理解し、意識して養成教育にあたっている 2. 知っており、ある程度理解している 3. 聞いたことはあるが、詳細はわからない 4. 「介護福祉士養成教育において修得すべき習得度評価基準※」を知らない |

※「介護福祉士養成課程における習得度評価基準の策定等に関する調査研究事業」2019年3月　　　（公社）日本介護福祉士養成施設協会による評価基準

質問 6　介護福祉士養成校において、あなたが教育をしていく上で課題と感じていること、困難に感じていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

|  |  |
| --- | --- |
| **新カリキュラムに対応した授業** | 1. 求められる介護福祉士像を意識した授業づくり 2. 領域の目的、教育内容のねらいを理解した授業づくり 3. 教育に含むべき事項と留意点を理解した授業づくり 4. 新カリキュラムにおいて新たに追加された内容等に対応した授業づくり 5. シラバスの作成 6. その他（ ） |
| **流れと**  **科目間の**  **連携** | 1. 体系的なカリキュラムの作成 2. 他の科目との教育内容の連携 3. 介護実習との連携 4. その他（ ） |
| **授業の展開方法等** | 1. アクティブラーニングの展開 2. 事例研究の展開 3. グループワークの展開 4. 演習の展開 5. ロールプレイの展開 6. 介護過程の展開方法 7. 遠隔授業＿オンデマンド型授業（教材提供型授業）の展開 8. 遠隔授業＿オンデマンド型授業（動画配信授業）の展開 9. 遠隔授業＿同時双方向型授業の展開 10. 個人差に対応した授業の展開(外国人留学生対応を含む) 11. その他（ ） |
| **指導や評価** | 1. 個別の指導等(生活指導、カウンセリング等)を必要とする学生への対応 2. 調査研究の手法の指導方法 3. 卒業論文等の調査研究の指導方法 4. 成績の付け方や評価の方法 5. その他（ ） |
| **資料や教材** | 1. 資料や教材の作成 2. 新たな資料や教材の開発 3. その他（ ） |
| その他、課題と感じていること、困難に感じていることがあればご記入ください。 | |

＊＊＊介護福祉士養成校における教育について伺います＊＊＊

**【繰り返し出てくる「研修や講習」「ＦＤ」について】**

**研修や講習**：研修や講習については、教育力向上につながる「学ぶ機会」と捉えて回答してください

**ＦＤ**：教育内容・方法等をはじめとする研究や研修を大学全体として組織的に行う。Faculty Developmentの略

質問 7　あなたご自身は、以下について受講・参加したことがありますか。（ア～クそれぞれ１つに○）

|  | **５**  **毎年**  **（毎回）**  **参加** | **４**  **１～２年前に参加** | **３**  **３～4年前に参加** | **２**  **5年以上参加していない** | **１**  **参加したことがない**  **（開催されていない）** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **ア）養成校で実施されている研修や講習** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| **イ）養成校で実施されているＦＤ** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| **ウ）日本介護福祉士養成施設協会主催の全国教職員研修会** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| **エ）日本介護福祉士養成施設協会のブロックが主催するブロック教員研修会** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| **オ）日本介護福祉士養成施設協会以外の介護関連団体の全国大会、研修等** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| **カ）日本介護福祉教育学会や日本介護福祉学会** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| **キ）上記以外の学会** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| **ク）自主的な勉強会や研究会** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |

質問8　研修や講習、ＦＤ、学会、勉強会や研究会に参加を決める要因として、何があげられますか。（あてはまるものすべてに○）

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 養成校による参加義務づけ 2. 養成校による出張扱い等での参加 3. 講師の知名度やキャリア 4. キャリアアップにつながる 5. 関心のある内容である 6. 新しい情報(知識や技術)である 7. 座学のみではなく実践が学べる 8. 授業に役立つ内容である | 1. 定期的な開催、連続の開催 2. 参加費が無料、または補助がある 3. 近い場所での開催 4. 都合の良い時間に開催 5. その他   （ 　　）   1. 特にない |

（１）研修や講習、ＦＤ、学会、勉強会や研究会などに参加して、教育力の向上に役立った内容、他の人に受講を勧めたい内容、参考になった内容等があれば、具体的にお教えください。

【記載例】

○年度□□大会の△△分科会で行われた〇〇（講義名、講演者）

〇〇を使用したモデル講義（講師名等）

|  |
| --- |
|  |

質問 9　あなたが感じている教育上の課題の解決に向けて、また、教育力の向上に向けて、どのような研修等の開催を希望しますか。

（１）希望する内容、関心のある内容について、質問７や質問８などを参考にしつつ自由にご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

（２）具体的開催の方法・希望する講師等

例：時期や期間、オンライン研修、施設の実習指導者と共同参加　など

|  |
| --- |
|  |

＊＊＊「介護教員講習会」について伺います＊＊＊

質問 10　「介護教員講習会」の以下１～１７の科目について、

●**受講の経験がある方**：改めて学び直しの必要性を感じるか、お教えください。

●**受講の経験がない方**：介護福祉士養成課程の教員として受講の必要があると考えるか、お教えください。

|  | **５**  **とても必要** | **４**  **必要** | **３**  **あまり必要ではない** | **２**  **必要ではない** | **１**  **わからない** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. **基礎分野／社会福祉学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **基礎分野／人間関係論** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **基礎分野／心理学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **基礎分野／哲学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **基礎分野／倫理学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **基礎分野／法学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **教育学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **教育方法** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **教育心理** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **教育評価** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **介護福祉学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **介護教育方法** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **学生指導・カウンセリング** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **実習指導方法** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **介護過程の展開方法** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **コミュニケーション技術** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **研究方法** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |

質問 11　新任者が介護福祉士養成校の教員として教授を始めるにあたり、以下1～17について、修得しておく必要性があると思う内容についてお聞かせください。これまでの経験や新任の教員に求めたいこと等を振り返り、ご回答ください。

|  | **５**  **とても必要** | **４**  **必要** | **３**  **あまり必要ではない** | **２**  **必要ではない** | **１**  **わからない** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. **基礎分野／社会福祉学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **基礎分野／人間関係論** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **基礎分野／心理学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **基礎分野／哲学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **基礎分野／倫理学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **基礎分野／法学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **教育学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **教育方法** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **教育心理** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **教育評価** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **介護福祉学** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **介護教育方法** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **学生指導・カウンセリング** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **実習指導方法** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **介護過程の展開方法** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **コミュニケーション技術** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 1. **研究方法** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |

質問 12　介護教員講習会についてご回答ください。

①見直しが必要と考える科目について、あてはまるものすべてに○をしてください。具体的な見直しの内容や方向性についてもご記入をお願いします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. **わからない、特にない** 2. 分野／社会福祉学 3. 基礎分野／人間関係論 4. 基礎分野／心理学 5. 基礎分野／哲学 6. 基礎分野／倫理学 7. 基礎分野／法学 8. 教育学 9. 教育方法 10. 教育心理 11. 教育評価 12. 介護福祉学 13. 介護教育方法 14. 学生指導・カウンセリング 15. 実習指導方法 16. 介護過程の展開方法 17. コミュニケーション技術 18. 研究方法 |  | 具体的な見直しの内容や方向性をお教えください  （　　　　）番の科目  （　　　　）番の科目  （　　　　）番の科目 |

②教育力の向上に向けて、介護教員講習会に新たに追加してほしい内容やテーマはありますか。

|  |
| --- |
|  |

③介護教員講習会の内容の見直しは、必要であると思いますか。（1つに○）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. とても必要 | 1. 必要 | 1. あまり必要ではない | 1. 必要ではない | 1. わからない |

④専任教員以外にも介護教員講習会の修了や一部の科目受講を義務づけることが必要であると思いますか。（1つに○））

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. とても必要 | 1. 必要 | 1. あまり必要ではない | 1. 必要ではない | 1. わからない |

質問 13　介護教員講習会に対するご意見がありましたらお教えください。

|  |
| --- |
|  |

＊＊最後に、介護福祉士養成課程の教員及び教育を取り巻く状況について伺います＊＊

質問 14　介護福祉士養成課程の教員の研修や講習（新たな学び、学び直し）に関し、ア～ウそれぞれについて、あてはまる番号に○をしてください。

|  | **５**  **とても思う** | **４**  **思う** | **３**  **あまり思わ**  **ない** | **２**  **思わ**  **ない** | **１**  **わからない** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **ア）採用時の研修や講習（学びの機会）の充実が必要である** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| **イ）非常勤講師の研修や講習（学びの機会）の充実が必要である** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| **ウ）専任教員の定期的な研修や講習（学びなおしの機会）の充実が必要である** | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |

質問 15　本調査に関連する事項について、ご意見や要望がございましたらご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

お忙しい中、ご協力をありがとうございました。

**令和３年１月１５日(金)**までに、返送・ご回答をお願いいたします。